



本校ホームページも更新しています。どうぞご覧ください。

文責 校長 長倉 修

## 本年もよろしくお願いします

令和6年になりました。本年は、これまでになく、様々なニュースが日本中を震撼させた年始でした。

特に、能登半島地震については、現在も多くの被災者の方々が不安な日々を過ごされており、そのニュースを目にするたびに心が痛みます。一刻も早い復興を願う毎日です。

この冬休み、保護者や地域の皆様のご協力のおかげをもちまして、本校の子どもに大きな事故やけがもなく、本日、3学期始業の日を迎えることができました。ありがとうございました。

3学期は一年間の総まとめの学期、これまでの学習や生活を振り返り、自分の目標を明確にして、日々の学校生活に取り組んでほしいと願うところです。

従来この時期は、冬の寒さや乾燥した空気等により、インフルエンザなどの感染症が拡大する時期でもあります。子ども達には、健康を維持し、元気に3学期の学校生活を過ごしてほしいと思います。ご家庭での健康管理にも引き続き十分にご注意ください。

新しい1年が、子ども達、ご家族の皆様、地域の皆様にとりまして、希望に満ち、さらなる飛躍の年になることを願います。本年もこれまでと同様、温かいご支援とご協力をよろしくお願いします。



## 台湾の子ども達との交流

今月30日(火)、福島小に、台湾の2つの小学校から小学5年生と6年生の子ども達、校長先生や先生方など総勢26名の方々がお越しになる予定です。前日に九州入りされ、様々な訪問先の1つとして串間市に来られることになり、今回、福島小にも来校される運びとなりました。

今のところ当日は、全校児童との対面式や6年生との交流活動などを計画しています。特に、6年生との交流では、音楽などの学習を共に行うことが主な活動となりますが、交流する中で、ふだん学習している英語やICTの成果を活かす絶好の機会ではないかと考えます。また、対面式も6年生の子ども達が中心となった運営を行うなど、福島小の子ども達の力で、交流の場を支えていきたいと考えています。交流のようすは、本校のホームページなどでもご紹介しますので、どうぞ楽しみにしてください！

### くしま学カルタ大会

1月5日(金)、串間市新春恒例の「くしま学カルタ大会」が串間中を会場に盛大に行われました。本校からも12名の代表児童が堂々と参加しました。また、本校児童が第2位、第3位に入る素晴らしい活躍も見られました。代表児童の皆さん、お疲れ様でした！入賞した皆さん、おめでとうございます！！



## デジタルメディアの利用について考える

どこに行ってもスマートフォンに目を向ける人々の姿を見かける現代、私たち大人も日々の生活に欠かせず、近くにないと何となく落ち着かない、現代社会はそういう時代です。スマートフォンの普及により、SNS の使用が人々に一気に拡大したのが、今から10数年前と言われます。ということは、今の小学生は、スマートフォンやSNS が全くなかった時代の経験値をもたない世代です。つまり、生まれた時から既に身近にスマートフォンやSNS が存在しており、物心ついた時から共に成長してきているという子ども達です。

昨年11月に実施された串間市PTA協議会研究大会で、「デジタル社会の子どもたち ～保護者としてできること～」というタイトルの講演会が開かれ、私も子どもに関わる立場の一人として、大変貴重な話を聴くことができました。スマートフォンやゲームが子どもに与える影響に関する話では、まず、「健康と発達の側面」から「強度近視」が挙げられました。「強度近視」により眼球内の眼軸が伸びてしまうと二度と元に戻ることはなく、将来、網膜剥離の危険も指摘されているとのことでした。その他、急性内斜視、ストレートネック、持久力低下等の影響も報告されているとのことでした。次に、「社会性や人間性への影響」に関しては、小学生段階での暴力行為の増加や思い通りにいかない時のいわゆる「キレ」る、「暴れる」「物を壊す」言動などとの関連性が挙げられるとのことでした。スマートフォンの利用頻度が高い子どもは、大脳のある領域の発達に課題が見られたとの指摘もあるそうです。したがって、保護者は、子どものそうした影響についての責任を負うリスクを意識する必要があるということが強調されました。

ゲームを含むデジタルメディアとの共存は今後ますます進んでいく時代にあって、私たちは子ども達に、デジタルメディアと適切にかかわっていく態度を身に付けていく必要があると考えます。そうした観点で講演会では、親子でデジタルメディア利用、SNS 利用の約束を子どもと粘り強く話し合い、約束が守られなくても、何回でもチャレンジするといった「約束力」をつけるチャンスととらえることも提案されました。また、時には、デジタルメディアの利用を意図的に絶って、デジタルを上回る豊かな体験を経験させることも重要であるとの話も聴かれたところでした。

ご家庭におかれましても、それぞれの実情に応じて、すでに取り組んでおられることとは思いますが、新しい年の始めのこの時期、これまでのご家庭での取組を振り返ってみられるのによい機会ではないかと考えます。

## 1月の主な行事

5日(金)くしま学カルタ大会

9日(火)始業式、給食当番交代

10日(水)教育相談、全校集会、巡回図書 11日(木)身体・視力検査(1・2・3年)

12日(金)身体・視力検査(4・5・6年)、委員会活動 13日(土)青少年の声を聞く会

15日(月)図書貸出開始、5年くしま学(きんかん収穫) 16日(火)クラブ活動、ぶくぶくタイム

17日(水)読み聞かせ(4～6年) 23日(火)ぶくぶくタイム

24日(水)読み聞かせ(4年)、登校班長会、6年英検 ESG、巡回図書

26日(金)都城大弓体験学習(4年) 29日(月)給食当番交代

30日(火)台湾の子ども達との交流、新入学児童保護者説明会

31日(水)全校集会、読み聞かせ(5年)

※ 上記は変更になる場合があります。

